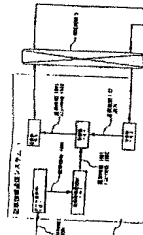




(51) 国際特許分類 G10L 3/00, H04M 11/00		(11) 国際公開番号 WO97/37344
A1		(43) 国際公開日 1997年10月9日(09.10.97)
(21) 国際出願番号 PCT/JP96/00853		
(22) 国際出願日 1996年3月29日(29.03.96)		
(71) 出願人 (米国を除くすべての指定国について) 株式会社日立製作所(HITACHI, LTD.)(JP/JP) 〒100 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地 Tokyo, (JP)		
(72) 発明者; および 佐田克己(KUTAJ, Katsuki)(JP/JP) 〒244 神奈川県横浜市戸塚区吉田町1545 横浜 達(YOKOZAWA, Tatsu)(JP/JP) 〒253 神奈川県茅ヶ崎市本宿町一丁目9番 森原俊司(KUWABARA, Tadashi)(JP/JP) 〒241 神奈川県横浜市旭区白根四丁目34番1-106号 Kanagawa, (JP)		
(74) 代理人 弁護士 小川勝男(OGAWA, Katsuo) 〒100 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 株式会社日立製作所内 Tokyo, (JP)		

(54) Title: TERMINAL HAVING SPEECH OUTPUT FUNCTION, AND CHARACTER INFORMATION PROVIDING SYSTEM USING THE TERMINAL

(54) 発明の名称 音声出力機能を有する端末および、それを用いた文字情報提供システム



- 1 ... text information transmission system 1
- 2 ... text information reception system 2
- 3 ... telephone line
- 101 ... data conversion section
- 102, 202, 205 ... text information memory section
- 103, 201 ... reception section
- 104 ... control section
- 203 ... text information acquisition section
- 204 ... speech information memory section
- 205 ... read-aloud information memory section
- 207 ... reference information memory section
- 208 ... information display section
- 209 ... information input section
- 210 ... operation control section
- 211 ... speech synthesis section
- 212 ... read-aloud position memory section
- 213 ... speech output section

(57) Abstract

In a terminal having the function to display a text and the function to read it aloud, when the position where the reading starts is designated, the speech information is synchronized with the display information so as to change the reproduction start position to a pause of the text such as the beginning of a clause, a sentence or a paragraph, for easy hearing. A text information reception system (2) of a terminal for receiving distribution of a text comprises display means (208) for displaying a text on a screen, speech output means (210) for searching the text displayed, input means (209) for detecting the position on the screen indicated by the user, and control means (211) for searching the position at which the text is best punctuated before and after the indicated position, causing the speech output means to start reading aloud the text from the beginning determined by this position, and causing the display means to display the position of word which is being read aloud.

(5.7) 要約

文面を表示し、読み上げる音声出力機能を有する端末において、読み上げ開始の位置が指定された場合、再生開始位置を文節か文または段落の先頭など聞き取り易い文章の区切り目へ補正するために、音声情報とその内容である文字による表示情報を同期させることを目的とする。

文面の配信を受ける端末である記事情報受信システム2を、テキスト情報を画面に表示する表示手段208と、表示内容を読み上げる音声出力手段211と、利用者が指示した画面上の位置を検出する入力手段209と、指示された位置の前後で文章の最も区切りの良い位置を検索し、この区切りの位置から表示されたテキスト情報を音声出力手段に読み上げさせるとともに、読み上げている位置を表示手段に表示させる制御手段210を備えるように構成する。

参考情報

PCTに基づいて公開される国際出版のパンフレット第一頁に記載されたPCT加盟国を特定するために採用されるコード

AL	アルバニア	ES	スペイン	FR	フランス	GB	イギリス	GR	ギリシャ	IE	アイルランド	IT	イタリア	JP	日本	KE	ケニア	KG	キルギス	KH	カンボジア	KR	韓国	LV	ラトビア	LT	リトアニア	LU	ルクセンブルグ	MC	モナコ	MD	モルドバ共和国	MG	マダガスカル	MK	マケドニア共和国	ML	マリ	MN	モンゴル	MW	マラウイ	MY	マレーシア	NE	ニジェール	NL	オランダ	NZ	ニュージーランド	PL	ポーランド	PT	ポルトガル	RU	ロシア連邦	SD	スーダン	SE	スウェーデン	SG	シンガポール	SI	スロベニア	SK	スロバキア	SN	セネガル	TH	タイ	TG	トゴ	TT	トリニダード・トバゴ	UA	ウクライナ	UG	ウガンダ	US	米国	UZ	ウズベキスタン	VN	ベトナム	YU	ユーゴスラビア	ZW	ジンバブエ
----	-------	----	------	----	------	----	------	----	------	----	--------	----	------	----	----	----	-----	----	------	----	-------	----	----	----	------	----	-------	----	---------	----	-----	----	---------	----	--------	----	----------	----	----	----	------	----	------	----	-------	----	-------	----	------	----	----------	----	-------	----	-------	----	-------	----	------	----	--------	----	--------	----	-------	----	-------	----	------	----	----	----	----	----	------------	----	-------	----	------	----	----	----	---------	----	------	----	---------	----	-------

明 細 書

音声出力機能を有する端末および、それを用いた文字情報提供システム

技術分野

本発明は、音声情報と文字情報とを利用者に提供する情報提供システムに関連し、特に音声情報をともなった文章情報の表示に関するものである。

背景技術

従来、文字や文章を読み上げて音声出力をする際に現在の読み上げ位置を利用者に知らせる手段として、特開平 6-52115 やカラオケといった音声出力に対応して画像情報を変化させるものがある。

上記技術を利用すれば、文章情報を表示させるとともに、音声出力を行う場合に利用者は表示されている文章のどこが読み上げられているのかを知ることが可能となる。

しかし従来の音声再生手段では、順送りや逆送りは音声情報を迎ることににより実現されるため、再生開始箇所を文節か文または段落の先頭といった文章の区切り目へ移動して、再生を再開することはできなかった。

発明の開示

本発明は、文章情報の表示において音声出力を行う場合の上記問題点に鑑みてなされたもので、利用者が聴き取り易い箇所から音声出力を再開するために、音声情報とその内容である文字による表示情報を同期させることにある。

本発明では上記目的を達成するために、文章情報の配信を受ける端末

を、テキスト情報を画面に表示する表示手段と、表示内容を読み上げる音声出力手段と、利用者が指示した画面上の位置を検出する入力手段と、指示された位置の前後で文章の区切りの良い位置を検索し、この区切りの位置から表示されたテキスト情報を音声出力手段に読み上げさせるとともに、読み上げている位置を表示手段に表示させる制御手段を備えるように構成したものである。

また、発明はテキスト情報と音声情報との対応付け、および文章を解析して文節か文または段落の先頭の位置をテキスト情報から識別し、同期情報を生成するデータ変換手段を備える。

図面の簡単な説明

第 1 図は、本発明の第 1 実施例における機能ブロック図であり、

第 2 図は、本発明の第 1 実施例での文章情報としての記事情報の構成例を示す図であり、

第 3 図は、本発明の第 1 実施例における文面の区切りの例を示す図であり、

第 4 図は、本発明の第 1 実施例での文章情報としての記事情報の例を示す図であり、

第 5 図は、本発明の第 1 実施例における端末でのメニューの表示例を示す図であり、

第 6 図は、本発明の第 1 実施例における端末での記事の表示例を示す図であり、

第 7 図は、本発明の第 1 実施例における音声出力の開始時の処理の順番を示す図であり、

第 8 図は、本発明の第 1 実施例における音声出力中の読み上げ位置の切り換え時の処理の順番を示す図であり、

第9図は、本発明の第1実施例における音声出力中の読み上げ位置の切り換えを行っている例の図であり、

第10図は、本発明の第1実施例における音声出力をしていない場合に文字を選択した時の処理の順番を示す図であり、

5 第11図は、本発明の第2実施例における機能ブロック図であり、

第12図は、本発明の第3実施例における機能ブロック図であり、

第13図は、本発明の第3実施例における端末での記事の表示例を示す図であり、

第14図は、本発明の第4実施例における端末での記事の表示例を示す

10 図であり、

第15図は、本発明の第5実施例における端末での記事の表示例を示す図であり、

第16図は、本発明の第6実施例での文章情報としての記事情報の構成例を示す図であり、

15 第17図は、本発明の第6実施例における端末での記事の表示例を示す図であり、

第18図は、本発明の第6実施例での文章情報としての記事情報の例を示す図であり、

第19図は、本発明の第7実施例における機能ブロック図であり、

20 第20図は、本発明の第1実施例におけるメニュー情報の構成図である。

発明を実施するための最良の形態

以下本発明の詳細を図示した各実施例によって説明する。尚、以下では、文章情報の具体的な一例に電子新聞を用いるが、これは、発明の説明を容易とする為のみであり、本発明の実施を電子新聞のみに限定するものではない。

25

< 第1実施例 >

第1図は本発明の第1実施例である音声情報付き文章情報提供システムの機能ブロック図である。本実施例は利用者が電話回線3を介して電子化された音声情報付きの新聞記事を端末へ取り寄せる方法と、音声の再生制御の例を示したものである。

5

第1図において1は記事情報送信システムであり、各種の電子化された音声情報付き新聞記事情報の蓄積と端末への配信を行う。

10 101はデータ変換部であり、外部システムまたは人手により入力される電子新聞のテキスト情報9001に対して文法的解析を行なうことで、記事情報1001を出力する機能を備える。記事情報1001は、

第2図に示す様にテキスト情報9001、読み上げ情報9002、同期情報9003とこれらの情報を一つの組みとして識別するための識別ID9004から成る。ここで、読み上げ情報9002は、テキスト情報

15 9001に対して文法的解析を行なうことで、文の読みやアクセント、ポーズ、抑揚、スピードなどの情報を含む発音記号列から成る読み上げに必要とする情報を提供するものである。同期情報9003もテキスト

情報9001に対して文法的解析を行なうことで、文節か文または段落の先頭といった文章の区切りの良いところであることを示す指標と、テ

20 キスト情報9001内の文字列、および読み上げ情報9002内の発音記号列とを対応づける情報を提供するものである。また、識別ID9004は、記事情報毎に例えば、KJ001、KJ002、・・・の

様に割り当てられるものである。

102は記事情報記憶部であり、データ変換部101から出力された

25 記事情報1001の保持・管理を行う。さらに利用者が所望の記事情報1001をメニュー形式で選択するためのメニュー情報1002を作

成・管理する機能も備える。ここでメニュー情報１００２は、第２０図に示す様にテキスト情報９００１、識別ＩＤ９００４、参照情報９００５で構成される。参照情報９００５は、さらに別のメニュー情報への識別ＩＤ９００４、あるいは別の記事情報への識別ＩＤ９００４から成る。

5 なお、各項目の表示はメニュー情報に付加されたテキスト情報９００１を用いて行われる。また、識別ＩＤ９００４は、該メニュー情報１００２自身を識別するための情報である。１０３は受信部であり、電話回線３を介して後述する利用者の端末から送信される識別ＩＤ９００４を受信して、後述する制御部１０４へ出力する機能を備える。１０４は制御部であり、受信部１０３の出力する識別ＩＤに基づいて記事情報記憶部
10 １０２から該当する記事情報１００１またはメニュー情報１００２を検索し、出力する機能を備える。１０５は送信部であり、制御部１０４の出力する記事情報１００１またはメニュー情報１００２を電話回線３を介して、利用者の端末へ送出する機能を備える。

15 第１図において２は各利用者の端末となる記事情報受信システムであり、記事情報送信システム１より配信された記事情報１００１の表示、読み上げ、および新たな記事情報１００１またはメニュー情報１００２の配信を要求する。

20 ２０１は受信部であり、電話回線３を介して記事情報送信システム１から送出された記事情報１００１またはメニュー情報１００２を受信して、記事情報記憶部２０２に出力する。２０２は記事情報記憶部であり、記事情報１００１またはメニュー情報１００２を保持する。

25 ２０３は記事情報取得部であり、記事情報記憶部２０２より取得した記事情報１００１、および、メニュー情報１００２を解析し、記事情報１００１、メニュー情報１００２を構成する上記各種情報を各々の記憶部に格納させる。先ず、記事情報１００１からは、同期情報９００３を

同期情報記憶部２０４へ、読み上げ情報９００２を読み上げ情報記憶部
20 ２０５へ、テキスト情報９００１をテキスト情報記憶部２０６へ出力する。他方、メニュー情報１００２からは各項目に対応する識別ＩＤ９０
0 ４から成る参照情報９００５を参照情報記憶部２０７へ、テキスト情
5 報９００１をテキスト情報記憶部２０６へ出力する。

20 ８は情報表示部であり、テキスト情報記憶部２０６内のテキスト情報９００１を、記事文面の読み上げを制御するためのアイコンと共に液晶表示装置などにより表示する。さらに表示されたテキスト情報９
0 １の反転表示処理において、文頭を開始点として、後述する読み上げ位置記憶部２１２から取得した同期情報に対応する文字に至る迄を反転
10 表示させる機能を備える。また、後述する情報入力部２０９から利用者の選択した座標２０９１を通知された場合、その座標を元に利用者が選
択したアイコンの種類、または選択した文字のテキスト情報９００１を
情報入力部２０９に通知する機能も備える。

15 ２０９は情報入力部であり、情報表示部２０８の上面に配され、利用者が画面上のどの位置を指示したのかを検出し、情報表示部２０８に表示された選択項目またはテキスト情報９００１のどれが選択されたのかを、情報表示部２０８に問い合わせ、後述する操作制御部２１０に出力する機能を備える。

20 ２１０は操作制御部、２１１は音声合成部、２１２は読み上げ位置記憶部である。読み上げ位置記憶部２１２は同期情報９００３を記憶し、他の処理部からの参照時、読み上げ位置同期情報２１２１として出力する。利用者が読み上げ位置を情報入力部２０９によって指定した時には、情報表示部２０８への問い合わせにより、指定された文字が選択テキスト情報２０８２として、情報入力部２０９に得られ、その次に操作制御
25 部２１０に出力される。操作制御部２１０は、該選択テキスト情報２０

8 2に対応する同期情報を同期情報記憶部204から読み出す。この読み出しに対し、同期情報記憶部204は、対応する同期情報を検索後、検索同期情報2041として、操作制御部210に出力する。操作制御部210は、該検索同期情報2041を読み上げ位置記憶部212に設定し、読み上げ位置同期情報2121とする。

また音声合成部211によって記事の音声出力中は、音声合成部211が読み上げ中の文字に対応する同期情報を同期情報記憶部204から読み出す。この読み出しに対し、同期情報記憶部204は、対応する同期情報を検索後、検索同期情報2041として、音声合成部211に出力する。音声合成部211は、該検索同期情報2041を読み上げ位置記憶部212に設定し、読み上げ位置同期情報2121とする。

一方で読み上げ位置記憶部212内の読み上げ位置同期情報2121は読み上げ等によって、その情報値が変化した時、情報表示部208から読み出され、また音声合成処理が開始される時に音声合成部211によって読み出される。操作制御部210は利用者の操作による情報入力部209からの入力に応じて、音声合成部211に音声合成処理の開始、停止を制御する(動作指令2101)。音声合成部211は操作制御部210より音声出力の開始を指令された場合、読み上げ位置記憶部212に問い合わせ、読み上げ位置同期情報2121を取得する。次に該読み上げ位置同期情報2121を開始点とする読み上げ情報を読み上げ情報記憶部205から、参照読み上げ情報2051として順次取得し、音声合成処理を行って音声出力部213により音声出力を行う。また操作制御部210より音声出力の停止を指令された場合、音声合成処理を中断する(動作指令2101)。一方、操作制御部210は情報入力部209からの入力に応じて、参照情報記憶部207内の参照情報9005から利用者の選択したメニューの項目に対応する識別ID9004を取得し、

選択識別ID2071として、後述する送信部214に出力することもある。214は送信部であり、操作制御部210より入力された選択識別ID2071を制御信号として電話回線3を介して、記事情報送信システム1へ送出する機能を備える。

第3図と第4図は、記事情報1001中の同期情報9003によるテキスト情報9001と読み上げ情報9002の対応付けを説明する図である。第3図はもととなる例文と、この例文を文法的解析によって文節の先頭で区切った結果と、生成された発音記号列の一例を示している。

第4図は、第3図の例文を基に生成された記事情報を示している。なお、文章の区切り目を文の先頭とする場合には、第4図の同期情報中の区切りフラグは同期番号が1番のブロックのみ1となる。文章の区切り目を段落の先頭とする場合には、段落の最初の文の先頭のブロックのみ1となる。

テキスト情報9001は、第4図のように表示される文面の文字列を文頭から順に文字単位のブロックとして並べたものであり、読み上げ情報9002はテキスト情報9001を文法的解析することによって得られる発音記号列をテキスト情報9001と同じ文字単位で区切ってブロックに格納したものである。第4図にあげた例ではテキスト情報9001の1番目のブロックには"政"、2番目のブロックには"策"が格納される。読み上げ情報9002の1番目のブロックには"ㄱ"、2番目のブロックには"ㄷ"が格納される。

同期情報9003は、テキスト情報9001と読み上げ情報9002の対応する各ブロックどうしが互いを参照するための番号である同期番号と、そのブロックが文章の区切り目に対応するかどうかを示すフラグをブロックに格納したものである。第4図の例では同期情報の4番目の

ブロックは区切りフラグから文章の区切れ目の先頭にあたることを判る。また同期番号が"4"なので、対応するテキスト情報からは4番の"中"を、対応する読み上げ情報からは4番の"が"を参照することができる。

音声出力中は、例えばは音声合成部211は読み上げ情報9002の1
5 1番目のブロックを読み上げると同時に、同期情報記憶部204内の同期情報の11番目のブロックを読み出し、読み上げ位置記憶部212に出力し、読み上げ位置同期情報2121として設定させる。情報表示部208は読み上げ位置記憶部212内の該読み上げ位置同期情報2121の同期番号を参照して、テキスト情報9001の11番目のブロック
10 までの文字を反転表示させる。

利用者が情報入力部209で11番目の文字を指定した場合は、操作制御部210は同期情報記憶部204内の同期情報を11番目のブロックから廻り、最も近い文章の区切り目のフラグをもつ9番目のブロックを取得して、読み上げ位置記憶部212に出力し、読み上げ位置同期情報2121として設定させる。情報表示部208は読み上げ位置記憶部212内の該読み上げ位置同期情報2121同期番号を参照して、テキスト情報9001の9番目の文字までを反転表示させる。その後音声出力が開始される時には、音声合成部211はこの同期情報の同期番号を参照して、読み上げ情報記憶部205内の9番目の読み上げ情報から音
20 声合成処理を開始する。

以下、まず第1図および第5図を用いて利用者が音声付き電子新聞提供システムを起動した後、メニューの項目を選択していくことで所望の記事情報入手する仕組みを説明する。

25 音声付き電子新聞提供システムを起動すると操作制御部210は情報表示部208に初期メニューを表示するために選択識別ID2071を

送信部214に出力し、送信部214は記事情報送信システム1へ選択識別ID2071を送出する。記事情報送信システム1は受信部103で選択識別ID2071を受信して制御部104へ出力し、制御部104は情報記憶部102より初期メニューのメニュー情報1002を取得する。初期メニューは例えば第5図に示すように「1：トップニュース、
5 2：政治・経済、3：国際情報、4：スポーツ、5：文化、…」の項目からなり、それぞれの項目はサブメニューを取り寄せるための識別ID9004をもっている。制御部104は取得した初期メニューのメニュー情報1002を送信部105を通じて記事情報受信システム2へ送信
10 する。

記事情報受信システム2では受信部201がメニュー情報1002を受信して記事情報記憶部202へ書き込む。記事情報取得部203は記事情報記憶部202よりメニューの情報を取得して、項目を表示するためのテキスト情報9001をテキスト情報記憶部206に、各項目に対応する識別ID9004から成る参照情報9005を参照情報記憶部207に書き込む。情報表示部208はテキスト情報記憶部206内のテキスト情報9001をもとに初期メニューの項目を表示する。
15

利用者が初期メニューの項目から所望の記事の属する項目を選択すると、情報入力部209は選択された座標2091を情報表示部208に通知して何を選択されたかを問い合わせ、得られた選択アイコン2081を操作制御部210に通知する。例えば項目番号4の「スポーツ」が選択されたとすると、操作制御部210は参照情報記憶部207に問い合わせ、参照情報9005の検索によって、該選択アイコン2081(「スポーツ」を示す)に対応する識別ID9004を選択識別ID2071として取得し、送信部214へ出力する。以下利用者は同様な手順を繰り返して、サブメニューを辿り最後は例えば、「1：大相撲千秋楽の行方、
25

2: ワールドカップ展望、3: 日本シリーズの結果、...」といった記事のタイトルからなる項目を選択すると、所望の記事の記事情報を配信依頼する為の選択識別ID2071が送信され、記事情報送信システム1から該選択識別ID2071に対応する情報1001が配信される。

5 記事情報受信システム2では記事情報1001を受信すると、記事情報取得部203は記事情報1001内の同期情報9003を同期情報記憶部204へ、読み上げ情報9002を読み上げ情報記憶部205へ、テキスト情報9001をテキスト情報記憶部206へ出力する。同期情報記憶部204に同期情報9003が書き込まれると、操作制御部210は読み上げ位置記憶部212に文頭に対応する同期情報9003を書き込み、読み上げ位置同期情報2121とする。さらに情報表示部208はテキスト情報記憶部206内のテキスト情報9001を取得して、記事の文面を表示すると共に、音声出力の制御を行うためのアイコンを表示する。この時、読み上げ情報記憶部205に設定されている読み上げ位置同期情報2121は、文頭に対応する同期情報であり、反転表示すべき文字が無いので、いずれの文字も反転表示されていない。

第6図は本システムによって実現され、上述の手順によって情報表示部208に記事が表示された直後の電子新聞の一例である。

20 本システムでは読み上げの開始・停止を情報表示部208内に表示されたアイコンの選択によって行い、読み上げ位置の指定は表示された文面への直接指示によって行う。401はテキスト情報9001による記事の文面であり、アイコン402・403は利用者が選択することで音声情報の出力の制御を行うためのものであり、アイコン402は音声出力の中断、アイコン403は音声出力の開始・再開の機能をもつ。

25 表示されている記事の読み上げを開始する場合を第7図を用いて説明

する。第7図は第1図の記事情報受信システム2の機能ブロック図から一部抜粋したものであり、図中のS1～S10はそれぞれ処理部から処理部へのデータの流れの順序を示す。

5 利用者がアイコン403を選択すると、情報入力部209は選択された座標2091を情報表示部208に通知し(S1)、アイコン403が選択されたことを示す情報の選択アイコン2081を受け(S2)、これを操作制御部210に通知する(S3)。操作制御部210はアイコン403が選択されたことを通知されると、音声合成部211へ音声合成処理を開始させる為、動作指令2101を出力する(S4)。音声合成部211は読み上げ位置記憶部212より読み上げを開始する位置を指定する読み上げ位置同期情報2121を取得し(S5)、読み上げ情報記憶部205において、該読み上げ位置同期情報2121に対応する読み上げ情報の箇所から読み上げ情報9002を参照読み上げ情報2051として順次取得し(S6)、音声合成処理を行って音声出力部213により音声出力を行う(S7)。本実施例では記事が表示された直後なので、読み上げ位置同期情報2121には文頭に対応する同期情報が書き込まれており、よって文頭から音声出力が開始される。音声出力中は出力中の音声に対応する検索同期情報2041を音声合成部211が同期情報記憶部204から取得して(S8)、読み上げ位置記憶部212に書き込み、読み上げ位置同期情報2121とする(S9)。情報表示部208は、該読み上げ位置同期情報2121を参照して(S10)、文頭から該読み上げ位置同期情報2121に対応する箇所までのテキスト情報9001の表示を例えばカラオケのように反転表示するなど変化する。

25 この結果利用者が表示されている記事の音声出力を得ると同時に、記事の中で現在読み上げている箇所を容易に識別できる。

なお文章の区切りの良い位置として、データ変換部101が俳句の五・七・五調や和歌の五・七・五・七調といった必ずしも文節か文または段落の先頭で区切ることが適当でない場合も対応が可能なので、より適切な位置で音声出力を開始することができる。

次に、音声出力中の読み上げ位置を任意の箇所に変更する場合を第8図を用いて説明する。第8図は第1図の記事情報受信システム2の機能ブロック図から一部抜粋したものであり、図中のS1～S8はそれぞれ処理部から処理部へのデータの流れの順序を示す。

10 利用者が情報表示部208で表示されている文字列の任意の箇所を選択すると、情報入力部209は選択された座標2091を情報表示部208に通知して(S1)、選択された文字に対応する選択テキスト情報2082を受け取り(S2)、操作制御部210に通知する(S3)。通知を受けると操作制御部210は音声合成処理を停止させる為、動作指令2101を音声合成部211に出力する(S4)。さらに同期情報記憶部204内の同期情報9003を、上記選択テキスト情報2082に対応する同期情報より遡り、最も近い位置にある文章の区切れの指標をもつ同期情報を検索後、検索同期情報2041として取得する(S5)。次に操作制御部210は、該検索同期情報2041を読み上げ位置記憶部212に書き込み、読み上げ位置同期情報2121とし(S6)、再度、音声出力を開始させる為、動作指令2101を音声合成部211に出力する(S8)。

一方、音声出力が停止すると読み上げ位置同期情報2121の更新が停止するため、情報表示部208が提示する読み上げ箇所も変化しなくなる。その後、利用者の指示により新たな検索同期情報2041が、操作制御部210によって書き込まれるので(S6)、情報表示部208

での読み上げ箇所も変化し(S7)、再度、音声出力が開始されると音声出力は利用者の指定した文字に一番近い文章の区切り目から始まることになる。

5 第9図は利用者が実際に端末の情報表示部208に表示されている文字を音声出力中に選択すること、音声出力で読み上げている位置を切り替えている場合を示しており、STEP1～STEP3で反転表示されている文字は既に読み上げられてきた部分であり、読み上げが進むにしたがって読み上げられた文字は反転表示となる。STEP1は音声出力を行っている場合であり、STEP2では情報表示部208に表示されている任意の文字を選択している場面を、STEP3ではSTEP2

10 の文字の選択により読み上げている位置が利用者の選択した文節の先頭に切り替わった場面を表している。

この結果利用者が音声出力中に記事の文面の任意の文字を選択すること、すばやく希望する位置から遡って一番近い文章の区切れから、音声出力を行うことが出来る。

音声出力中に音声の出力を中断したい場合には、利用者がアイコン402を選択すると情報入力部209が情報表示部208に問い合わせて、アイコン402が選択されたことを示す選択アイコン2081を操作制御部210に通知し、操作制御部210は音声合成部211に音声合成処理の停止を指令(動作指令2101)し、さらに読み上げ位置記憶部212に文頭に対応する同期情報9003を書き込み、読み上げ位置同期情報2121とする。情報表示部208は該読み上げ位置同期情報2121が文頭に対応する同期情報であるので、テキスト情報9001のラオケのような表示は解除される。

この結果利用者が音声出力を中断することができる。

音声出力が停止している時に音声出力を再開する箇所を指定する場合を第10図を参考にして説明する。第10図は第1図の記事情報受信システム2の機能ブロック図から一部抜粋したものであり、図中のS1～S6はそれぞれ処理部から処理部へのデータの流れの順を示す。

利用者が情報表示部208で表示されている文字列の任意の箇所を選択すると、情報入力部209は選択された座標2091を情報表示部208に通知して(S1)、選択された文字が何であるかを問い合わせ(S2)、選択テキスト情報2082として取得後、操作制御部210に通知する(S3)。同期情報記憶部204内の同期情報9003を、該選択テキスト情報2082に対応する同期情報を起点に遡り、最も近い位置にある文章の区切れの指標をもつ同期情報を検索し(S4)、これを読み上げ位置記憶部212に書き込む(S5)。情報表示部208は読み上げ位置記憶部212の読み上げ位置同期情報2121を参照してテキスト文字の表示を変化させるので、文頭から利用者の指定した文字までの表示をカラオケのように反転表示させる(S6)。アイコン403を選択して音声出力が開始されると、利用者の指定した文字から音声出力が開始される。

この結果、利用者が音声出力停止中でも記事の文面の任意の文字を選択することで、文章の区切れの良い位置を音声出力の再開位置に指定することができる、しかもその位置を容易に識別できる。

なお、情報表示部208が読み上げ位置同期情報2121を参照してテキスト文字の表示を変化させる時、文頭から利用者の指定した文字までの表示をカラオケのように強調したり、また下線を付加するようにしても良い。

また、利用者の端末にアイコンの機能に相当するボタンをもつリモコンを備えることによって、満員電車の中や歩行中のように端末の操作が困難な状況においても、アイコンの操作だけで可能な機能を利用することができ。

以上のことから本実施例によると、電子新聞の記事の音声出力を行う際、記事中の任意の文字を指定することで、すばやく言葉として意味のある文章の区切れからの音声出力を開始することができるとともに、その箇所を文字の表示の変化によって確認することができる。また音声出力中は文字の表示の変化によって現在読み上げている位置を容易に確認することができるので、現在読み上げている位置を参照しながら読み飛ばしや聞き直しを開始する位置を指定することができる。特に情報表示部208が小さいために利用者が文字の指定を行い難い場合も、読み上げ位置が補正されるので、利用者の操作性を向上させることができる。

< 第2実施例 >

第11図は第2実施例を説明する図である。本実施例が第1実施例と異なる点は、データ前処理部106を記事情報送信システム3に設け、また記事情報受信システム4にデータ変換部215を設けたことである。データ前処理部106はテキスト情報9001と識別ID9004とから成る記事情報1003を出力する。データ変換部215は受信部201より受けた記事情報1003内のテキスト情報9001から、読み上げ情報9002と同期情報9003を生成し、テキスト情報9001と識別ID9004と合わせて記事情報1001として、記事情報記憶部202に出力する。

第1実施例においては電話回線3で送信されるデータはテキスト情報

9001、読み上げ情報9002、同期情報9003および識別ID9004とから成る記事情報1001であった。本実施例によると電話回線3で送信される記事情報1003のデータはテキスト情報9001と識別ID9004であり、電話回線3で送信されるデータを軽減することができ。

<第3実施例>

第12図と第13図は第3実施例を説明する図である。本実施例が第1実施例と異なるのは、第12図において操作制御部210が、読み上げ位置記憶部212から読み上げ位置同期情報2121を取得することができると、第13図のように音声出力の一時停止を行うためのアイコン404を追加したことである。

利用者が音声出力中に音声の出力を一時停止したい場合にはアイコン404を選択すると、情報入力部209が情報表示部208に問い合わせてアイコン402が選択されたことを示す選択アイコン2081を操作制御部210に通知し、操作制御部210は音声合成部211に音声合成処理の停止を指令する(動作指令2101)。さらに操作制御部210は読み上げ情報記憶部212より取得した読み上げ情報同期情報2121を起点に同期情報記憶部204内の同期情報9003を遡り、最も近い位置にある文章の区切れを検索し、検索同期情報2041とする。該検索同期情報2041を読み上げ位置記憶部212に書き込み、読み上げ位置同期情報2121として設定する。この設定に伴い、読み上げ位置同期情報2121の更新は停止されるので、情報表示部208が提示する読み上げ箇所も変化しなくなる。

この結果利用者は音声出力を一時停止することができ、しかも停止箇所を容易に識別できる。さらにアイコン403の選択によって再度音声

出力を再開する場合に文章の区切れの悪いところで一時停止をしていたとしても、文章の区切れの良いところまで遡っているのので、聞き取りやすい箇所から再開することができ。

なお、上記処理において音声合成部211は操作制御部210によって音声合成処理の停止を指令された場合、同期情報記憶部204から次の文章の区切れの指標をもつ同期情報を取得するまで音声合成処理を継続してから、停止するようにすることもできる。この場合は、操作制御部212による読み上げ位置記憶部212への同期情報の書き込みは不要であるが、利用者がアイコン404を選択した後、文章の区切れの長いところまで読み上げは継続されることになる。

<第4実施例>

第14図は第4実施例を説明する図である。本実施例が第1実施例と異なるのは、第3実施例と同様第12図において操作制御部210は読み上げ位置記憶部212から読み上げ位置同期情報2121を取得することができると、第14図のように音声出力の順送り・逆送りを行うためのアイコン405・406を追加したことである。

利用者が音声出力再開の位置を順送りによって指定したい場合はアイコン406を選択すると、情報入力部209が情報表示部208に問い合わせてアイコン406が選択されたことを示す選択アイコン2081を操作制御部210に通知し、操作制御部210は音声出力中であれば、音声合成部211に音声合成処理の停止を指令する。操作制御部210は読み上げ位置記憶部212から読み上げ位置同期情報2121を取得し、該読み上げ位置同期情報2121以後の同期情報9003を同期情報記憶部204から検索同期情報2041として順次取得し、読み上げ位置記憶部212に書き込み、読み上げ位置同期情報2121を更新す

る。情報表示部208は該読み上げ位置同期情報2121を参照してテキスト文字の表示を変化させるので、文頭から利用者の指定した文字までの表示をカラオケのように反転表示させる。

アイコン406の選択状態が解除されると、情報入力部209が情報表示部208に問い合わせてアイコン406の選択が解除されたことを示す選択アイコン2081が操作制御部210に通知され、操作制御部210は読み上げ位置記憶部212への同期情報の書き込みを停止する。

さらに読み上げ位置記憶部212から最後に書き込んだ同期情報である読み上げ位置同期情報2121を取得し、これを開始位置として同期情報記憶部204内の同期情報9003を遡って最も近い位置の文章の区切れを検索(検索同期情報2041)し、これを読み上げ位置記憶部212に書き込むことで、読み上げ位置同期情報2121を更新する。さらに順送りを始める前に音声出力中であつたならば、音声合成部211に音声合成処理の開始を指令する(動作指令2101)。読み上げ位置同期情報2121は利用者が順送りを終了させた箇所の同期情報であるので、音声合成部211はその箇所から再び音声出力を開始する。

利用者が逆送りで指定したい場合は、先ずアイコン405を選択することで実現出来る。その後の処理は、前記順送りと同様の処理において、操作制御部210の同期情報記憶部204からの同期情報9003の読み込みを逆方向にすることによって実現される。

この結果利用者は、音声出力を再開する箇所を目で確認しながら順送りまたは逆送りさせることができ、しかも音声出力が再開される際には文章の区切れの良いところから開始できるという効果を得る。

< 第5実施例 >

第15図は第5実施例を説明する図である。本実施例が第1実施例と

異なるのは、第3実施例と同様第12図において操作制御部210は読み上げ位置記憶部212から読み上げ位置同期情報2121を取得することができると、第15図のように音声出力の順送り・逆送りをスキップ処理で行うためのアイコン407・408を追加したことである。

第4実施例でのアイコン405が選択されている場合の順送りの処理において、操作制御部210が同期情報記憶部204から順次文章の区切れの指標をもつ同期情報のみを取得し、読み上げ位置記憶部212に書き込むようにする。この結果、読み上げ位置同期情報2121は、文章の区切れ指標をもつ同期情報毎に更新される為、情報表示部208でのテキスト文字の反転表示は、前記第4実施例の順送りに比較して、文章の区切れの指標毎に速やかに実施可能となる。また、アイコン405の選択が解除された場合に、同期情報記憶部212内を逆送りに取得して文章の区切れの指標をもつ同期情報を取得する処理は不要となり、前記第4実施例の順送りに比較して、速やかに次の処理を起動可能となる。

15 利用者がアイコン407を選択することで逆送りのスキップ処理で指定したい場合も、アイコン408を選択した順送りのスキップ処理と同様の処理において、操作制御部210の同期情報記憶部204からの同期情報9003の読み込みを逆方向にすることによって実現される。

この結果利用者は、音声出力を再開する箇所を目で確認しながら、文章の区切れ毎に順送りまたは逆送りのスキップ処理をさせることができ、しかも音声出力が再開される際には文章の区切れの良いところから開始できるという効果を得る。

< 第6実施例 >

第16図と第17図および第18図は第6実施例を説明する図である。本実施例が第1実施例と異なるのは第16図のように記事情報内に参照

情報 9005 を設けたことと、第 17 図のように関連情報を取得するためのアイコン 409 を追加したことと、第 3 実施例と同様第 12 図のように操作制御部 210 は読み上げ位置記憶部 212 から、読み上げ位置同期情報 2121 を取得することができるようにしたことである。参照情報 9005 は第 18 図のようにテキスト情報 9001 と同じ文字単位で区切ったブロックから成る。記事の文面に含まれるキーワードで記事情報記憶部 102 の中に関連する記事情報がある場合、このキーワード文字列を構成するテキスト情報に対応する参照情報の各ブロックには、全て関連する記事情報への識別 ID が記されている。参照情報 9005 は、同期情報 9003 を通じて対応するテキスト情報 9001 や読み上げ情報 9002 から参照できるものとする。記事情報 1001 内の参照情報 9005 は記事情報取得部 203 によって参照情報記憶部 207 に書き込まれ、参照情報の各ブロック内の識別 ID は操作制御部 210 によって、選択識別 ID 2071 として取得される。

15 利用者が記事情報の中のキーワードで参照できる記事情報を表示させたい場合には、音声出力中ならばそのキーワードの読み上げ中にアイコン 409 を選択し、音声出力中でなければそのキーワード内のどれかの文字を選択してからアイコン 409 を選択する。すると情報入力部 209 は情報表示部 208 に問い合わせて、アイコン 409 が選択されたことと示す選択アイコン 2081 を操作制御部 210 に通知する。操作制御部 210 は読み上げ位置記憶部 212 から読み上げ位置同期情報 2121 を取得し、該読み上げ位置同期情報 2121 に基づき参照情報記憶部 207 内を検索して、対応する参照情報が識別 ID 9004 をもつ場合は、これを取得後、選択識別 ID 2071 として送信部 214 へ出力する。送信部 214 は該選択識別 ID 2071 を記事情報送信システム 1 へ送出するので、記事情報送信システム 1 は第 1 実施例で示した手順と

同様に、関連する記事情報を配信する。また音声出力中であれば、操作制御部 210 は音声合成部 211 に音声合成処理の停止を指令する。操作制御部 210 は、検索した参照情報 9005 が識別 ID をもたない場合には、アイコン 409 の選択を無視する。

5 この結果利用者は、参照できる記事情報が存在するキーワードについて、そのキーワードを指定することで関連する記事情報の配信を受けることができる。

なお、音声出力中に利用者がアイコン 409 を選択した時に、対応する参照情報 9005 が識別 ID をもたない場合には、操作制御部 210 は読み上げ位置情報記憶部 212 より取得した読み上げ位置同期情報 2121 を起点に同期情報記憶部 204 内の同期情報 9003 を選り、適当な範囲内で対応する参照情報が識別 ID 9004 をもたなければ、その識別 ID 9004 を選択識別 ID 2071 として送信部 214 に出力することでもできる。

この結果利用者は、必ずしも利用者が所望とするキーワードを読み上げている瞬間にアイコン 409 を選択しなければならないということがなくなり、ある程度の時間的余裕をもってアイコン 409 を選択する操作を行うことができる。

< 第 7 実施例 >

第 19 図は第 7 実施例を説明する図である。本実施例が第 1 実施例と異なるのは第 19 図において、操作制御部 210 は読み上げ位置記憶部 212 から読み上げ位置同期情報 2121 を取得することができるものとし、また繰り返し位置記憶部 216 を設けたことである。該繰り返し位置記憶部 216 によって、利用者が文字の選択を開始した文字と選択

を解除した文字により指定される範囲のテキスト読み上げを繰り返して実行させることが可能となる。但し、文字の選択を開始した文字と選択を解除した文字が同一文字であり、範囲指定されなかった場合は、繰り返しの必要がない為、読み上げの繰り返しは実行されない。

5 利用者による文字の範囲選択実行時、情報入力部209は情報表示部208に問い合わせて、利用者が文字の選択を開始した文字と選択を解除した文字のそれぞれに対応した選択テキスト情報2082を取得後、操作制御部210に出力する。

10 操作制御部210はそれぞれの選択テキスト情報2082に対応する同期情報を同期情報記憶部204から、それぞれ検索同期情報2041として取得し、繰り返し位置記憶部216に書き込む。その際、繰り返し開始位置を示す同期情報を開始同期情報2161とし、繰り返しの終了位置を示す同期情報を終了同期情報2162として書き込むものとする。ここで開始同期情報2161は、操作制御部210が同期情報記憶部204内の同期情報9003を、利用者が選択を開始した文字のテキスト情報に対応する同期情報を起点に遡って検索し、最も近い位置にある文章の区切れの指標をもつ同期情報である。162は、操作制御部210が同期情報記憶部204内の同期情報9003を、利用者が選択を解除した文字のテキスト情報に対応する同期情報を起点に文末方向に検索し、最も近い位置にある文章の区切れの指標をもつ同期情報である。

20 繰り返し位置記憶部216内の2つの同期情報は、利用者が再度文面に対する選択を実行すると、操作制御部210によってクリアされ、繰り返し読み上げ処理が中止される。また、利用者の選択開始した文字を示す選択テキスト情報2082と選択を解除した文字を示す選択テキスト情報2082とが同一である場合は、操作制御部210によってクリ

アされ、繰り返し読み上げ処理は実行されない。

5 利用者は記事の任意の部分を繰り返し聴きたい場合は、音声出力中ではないならば開始したい位置で文字の選択を開始し、終了したい位置で文字の選択を解除してからアイコン403を選択する。情報入力部209は情報表示部208に問い合わせてアイコン403が選択されたことを操作制御部210に通知し、操作制御部210は音声合成部211に音声合成処理の開始を指令する。音声出力中ならば音声合成処理を一度停止させてから、再度開始を指令する。操作制御部210は音声出力を開始する際、繰り返し位置記憶部216に2つの同期情報がある場合は、10 読み上げ位置記憶部212に開始同期情報2161を書き込みをしてから、音声合成部211に音声合成処理の開始を指令する。さらに音声出力中は読み上げ位置記憶部212内の読み上げ位置同期情報2121を参照し、繰り返し位置記憶部216内の終了同期情報2162と同じならば、音声合成部211に音声合成処理を停止させ、再度読み上げ位置記憶部212に開始同期情報2161を書き込んだ後音声合成処理を開始させる。

この結果利用者は指定範囲の記事を文章の区切れの良いところで、音声出力によって繰り返し聴くことができる。

20 産業上の利用可能性

本発明によって、文書情報(例えば、電子新聞)の音声出力を行う際、文面中の任意の文字を直接あるいは順送りや逆送りによって文字の指定をすること、希望する位置から一番近い文章の区切れからの音声出力を開始することができるとともに、その箇所を文字の表示の変化によって確認することができる。

さらに音声出力中は文字の表示の変化によって現在読み上げている位

置を容易に確認することができるので、現在読み上げている位置を参照しながら、読み飛ばしや聴きなおしを開始する位置を直接あるいは順送りや逆送りによって指定することができる上、すばやく読み上げ位置を指定された位置に一番近い文章の区切れ位置からの音声出力に切り替えることができる。

またさらに参照が可能なキーワードを選択することで、関連の文字情報の配信を要求できる。しかも音声出力中のキーワード選択において、利用者が参照を希望するキーワードを音声出力中に選択出来なくとも、希望とするキーワードに関連する文字情報の配信要求が出来る為、ある程度の時間的余裕をもってキーワード選択が行えるという効果もある。

上記の本発明の説明では、文章情報の具体例に電子新聞を用いたが、これは、発明の説明を容易とする為のみである。即ち、本発明の実施は、電子新聞のみに限定されるのではなく、各種の文章情報を記憶する装置、データベース等から文書情報、データを取得した後、表示させながら、音声出力する場合においても上記の本発明の種々の効果を享受出来るものである。

請求の範囲

1. 文字表示機能と、表示された文面を読み上げる機能と、音声出力と文字表示の変化とを同期させる機能と、表示された文面を直接指示する機能とを有し、表示されている文面を直接指示することによって、読み上げる位置の変更が可能であることを特徴とする端末。

2. 請求項 1 において変更された読み上げる位置が、前記文面の区切りの良い位置に補正されることを特徴とする端末。

3. 請求項 2 において補正される前記文面の区切りの良い位置が、文節か文または段落の先頭であることを特徴とする端末。

4. 文面の区切れを予め決定する機能と、文面を音声で出力するための読み上げ情報を生成する機能と、前記文面の文字と前記読み上げ情報とさらに前記文面の区切れとの対応を取るための同期情報を生成する機能を有する文書変換手段と、前記文面と前記読み上げ情報および前記同期情報を合わせて記憶する記憶手段と、利用者側からの送信指示を受ける受信機能と、該送信指示に基づいて前記記憶手段に記憶された文面と同期情報と読み上げ情報を、文書情報として利用者側へ送る送信機能を有する通信手段とを備えた文書情報送信システムと、

該文書情報送信システムに各種の指示をする送信機能と、前記指示に対応した文章情報を前記送信システムから受ける受信機能とを有する通信手段と、受信した前記文章情報を記憶する記憶手段と、前記文章情報に含まれる前記読み上げ情報を用いて文面を読み上げる音声出力手段と、同じく前記文書情報に含まれる前記文面を利用者に提示する表示手段と、該表示手段と前記音声出力手段を前記同期情報に基づいて制御する制御手段と、該制御手段に対して利用者が読み上げ位置を前記表示手段の画面上から直接指示する入力手段とを備えた文章情報受信システムとから

成り、

前記文章情報受信システムが通信手段を介して受信した文章情報を表示手段によって表示した文面において、任意の文字に対する前記入力手段による利用者の指示を受けて、前記制御手段と前記同期情報により区切りのよい任意の位置から読み上げると共に、該読み上げ位置を利用者が識別できるように表示を行うことを特徴とする音声付き文章情報提供システム。

5 文面を記憶する記憶手段と、利用者側からの送信指示を受ける受信機能と、該送信指示に基づいて前記記憶手段に記憶された文面を文章情報として利用者側へ送る送信機能を有する通信手段とを備えた文章情報送信システムと、

10 該文章情報送信システムに各種の指示をする送信機能と、前記指示に対応した文章情報を前記送信システムから受ける受信機能とを有する通信手段と、受信した前記文章情報内の前記文面の区切れを決定する機能と、前記文面を音声で出力するための読み上げ情報を生成する機能と、前記文面の文字と前記読み上げ情報とさらに前記文面の区切れとの対応を取るための同期情報を生成する機能を有する文書変換手段と、前記文面と前記読み上げ情報および前記同期情報をそれぞれ記憶する記憶手段と、前記読み上げ情報を用いて文面を読み上げる音声出力手段と、前記文面を利用者に提示する表示手段と、該表示手段と前記音声出力手段を前記同期情報に基づいて制御する制御手段と、該制御手段に対して利用者が読み上げ位置を前記表示手段の画面上から直接指示する入力手段とを備えた文章情報受信システムとから成り、

20 前記文章情報受信システムが通信手段を介して受信した文章情報を表示手段によって表示した文面において、任意の文字に対する前記入力手段による利用者の入力を受けて、前記制御手段と前記同期手段により区

切りのよい任意の位置から読み上げると共に、該読み上げ位置を利用者が識別できるように表示を行うことを特徴とする音声付き文章情報提供システム。

5 請求項4または請求項5に記載の音声情報付き文章情報提供システムにおいて、文面に含まれるキーワードから別の文章情報を参照するための識別IDを文章情報に付加することによって、利用者がそのキーワードに関連する文面の配信を受けることが可能であることを特徴とする音声情報付き文章情報提供システム。

10 請求項4または請求項5に記載の音声情報付き文章情報提供システムにおいて、利用者が表示されている文面の任意の区間を指定することによって、該区間を繰り返し聴くことができることを特徴とするシステム。

15 文字表示機能と、表示された文面を読み上げる機能と、音声出力と文字表示の変化とを同期させる機能と、表示された文面を直接指示する機能とを有し、表示されている文面を直接指示することによって、読み上げる位置の変更を前記文面の区切りの良い位置に補正することが可能であり、読み上げ処理を起動するアイコン、ボタン、または、指示手段を指示する事によって、読み上げ処理を起動することを特徴とする端末。

20 文字表示機能と、表示された文面を読み上げる機能と、音声出力と文字表示の変化とを同期させる機能と、表示された文面を直接指示する機能とを有し、表示されている文面を直接指示することによって、読み上げる位置の変更を前記文面の区切りの良い位置に補正することが可能であり、読み上げ処理中に該読み上げ処理を中止するアイコン、ボタン、または、指示手段を指示する事によって、読み上げ処理を中止することを特徴とする端末。

25

10. 文字表示機能と、表示された文面を読み上げる機能と、音声出力と文字表示の変化とを同期させる機能と、表示された文面を直接指示する機能とを有し、表示されている文面を直接指示することによって、読み上げる位置の変更を前記文面の区切りの良い位置に補正することが可能であり、読み上げ処理中に該読み上げ処理を一時停止するアイコン、ボタン、または、指示手段を指示する事によって、読み上げ処理を一時停止することを特徴とする端末。

11. 文字表示機能と、表示された文面を読み上げる機能と、音声出力と文字表示の変化とを同期させる機能と、表示された文面を直接指示する機能とを有し、表示されている文面を直接指示することによって、読み上げる位置の変更を前記文面の区切りの良い位置に補正することが可能であり、音声出力を一旦停止した後、再開する箇所の文字表示の位置を順次文末方向へ移動させる処理を起動するアイコン、ボタン、または、指示手段を指示する事によって、音声出力を再開する箇所の文字表示の位置を順次文末方向へ移動させる処理を起動することを特徴とする端末。

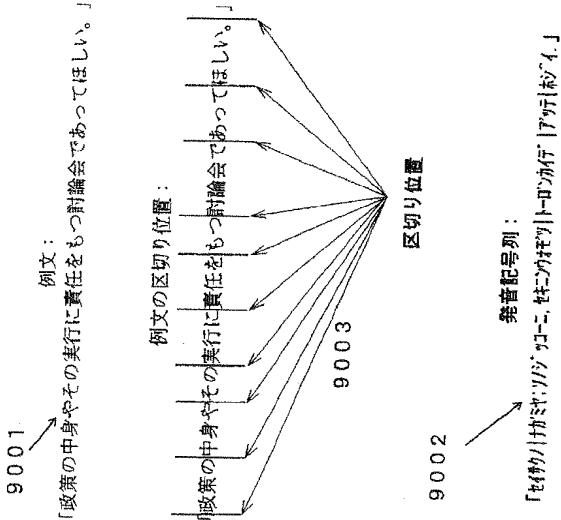
12. 文字表示機能と、表示された文面を読み上げる機能と、音声出力と文字表示の変化とを同期させる機能と、表示された文面を直接指示する機能とを有し、表示されている文面を直接指示することによって、読み上げる位置の変更を前記文面の区切りの良い位置に補正することが可能であり、音声出力を一旦停止した後、再開する箇所の文字表示の位置を順次文頭方向へ移動させる処理を起動するアイコン、ボタン、または、指示手段を指示する事によって、音声出力を再開する箇所の文字表示の位置を順次文頭方向へ移動させる処理を起動することを特徴とする端末。

13. 文字表示機能と、表示された文面を読み上げる機能と、音声出力

力と文字表示の変化とを同期させる機能と、表示された文面を直接指示する機能とを有し、表示されている文面を直接指示することによって、読み上げる位置の変更を前記文面の区切りの良い位置に補正することが可能であり、音声出力を一旦停止した後、再開する箇所の文字表示の位置を順次文末方向へ、前記文面の区切りの良い位置毎に移動させる処理を起動するアイコン、ボタン、または、指示手段を指示する事によって、音声出力を再開する箇所の文字表示の位置を順次文末方向へ、前記文面の区切りの良い位置毎に移動させる処理を起動することを特徴とする端末。

14. 文字表示機能と、表示された文面を読み上げる機能と、音声出力と文字表示の変化とを同期させる機能と、表示された文面を直接指示する機能とを有し、表示されている文面を直接指示することによって、読み上げる位置の変更を前記文面の区切りの良い位置に補正することが可能であり、音声出力を一旦停止した後、再開する箇所の文字表示の位置を順次文頭方向へ、前記文面の区切りの良い位置毎に移動させる処理を起動するアイコン、ボタン、または、指示手段を指示する事によって、音声出力を再開する箇所の文字表示の位置を順次文頭方向へ、前記文面の区切りの良い位置毎に移動させる処理を起動することを特徴とする端末。

第3図



第4図

← 9004

識別ID
KJ001

← 9001

番号	文字データ
1	政
2	策
3	の
4	中
5	身
6	や
7	そ
8	の
9	実
10	行
11	に
12	責
13	任
14	を
15	も
16	つ
17	討
18	論
19	会
20	で
21	あ
22	っ
23	て
24	ほ
25	し
26	い
27	。

← 9002

番号	発音記号列
1	セ
2	ヤ
3	ノ
4	チ
5	ミ
6	ヤ
7	ソ
8	ノ
9	ジ
10	コ
11	ニ
12	セ
13	ニ
14	ガ
15	モ
16	ツ
17	ト
18	ロ
19	カ
20	デ
21	ア
22	ッ
23	テ
24	ホ
25	シ
26	イ
27	。

← 9003

番号	同期番号	区切りフラグ
1	1	1
2	2	0
3	3	0
4	4	1
5	5	0
6	6	0
7	7	1
8	8	0
9	9	1
10	10	0
11	11	0
12	12	1
13	13	0
14	14	0
15	15	1
16	16	0
17	17	1
18	18	0
19	19	0
20	20	0
21	21	1
22	22	0
23	23	0
24	24	1
25	25	0
26	26	0
27	27	0

区切りフラグ： 1...文章の区切りを表わす。
0...文章の区切りではないことを表わす。

第5図

オンラインジャーナル

'95/11/15 PM2:00号

1: トップニュース

2: 政治・経済

3: 国際情報

4: スポーツ

5: 文化

6: 科学

第6図

95.11.15
■ 珍獣発見!!
■ 3頭のササノコ白熊を保護

神奈川県の山奥で珍獣ササノコ白熊が発見され、騒動を呼んでいる。ササノコ白熊はこれまで、北郷の山奥でのみ、その存在が確認されており、北郷圏外で発見されたのは今回が初めて。

発見者である山田太郎氏は、山の川で洗濯をしている時に偶然杉林で魚を獲ろうとするササノコ白熊と目が合い、手を驚かされたという。山田氏の通報により、佐藤教授を中心とする野生動物研究チームが組織され、1週間におよぶ山狩りがなされた。その結果、3頭のササノコ白熊が発見され、脱走の一人が無傷に成功している。現在のところ、特に懸念は無い。

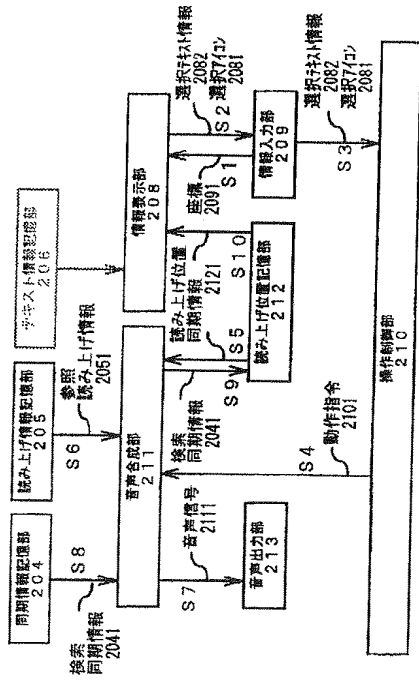
ササノコ白熊は夜行性で、夜行性であるにもかかわらず月光の下で3頭かたまって眠っており、佐藤教授を驚かしている。ササノコ白熊の生態に詳しく、

401

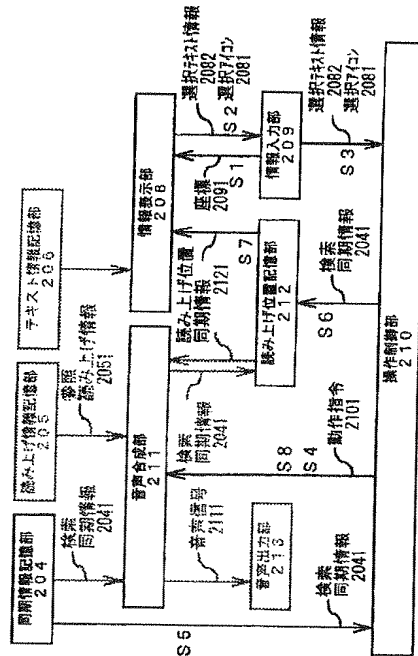
402

403

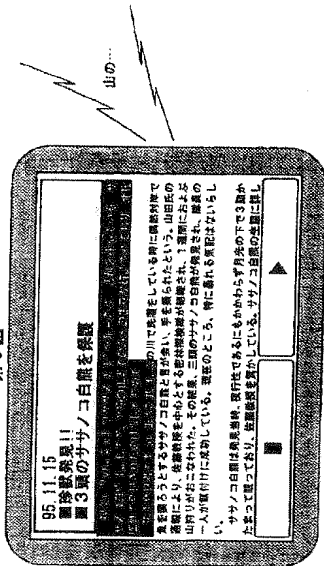
第7図



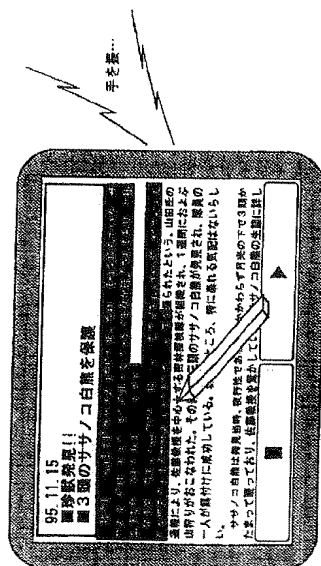
第8図



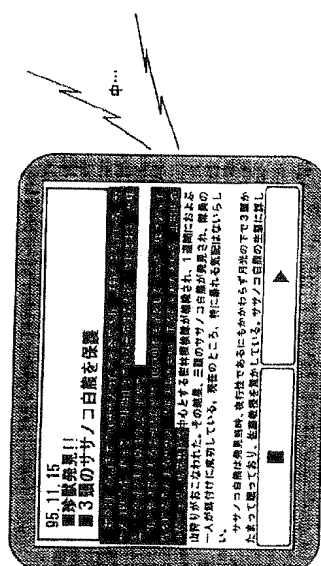
第9図



STEP1

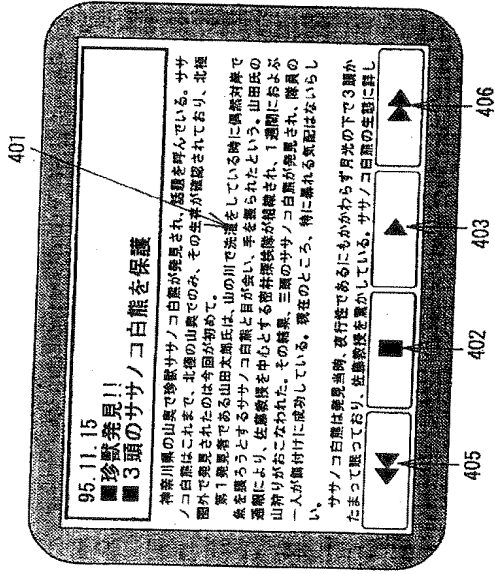


STEP2

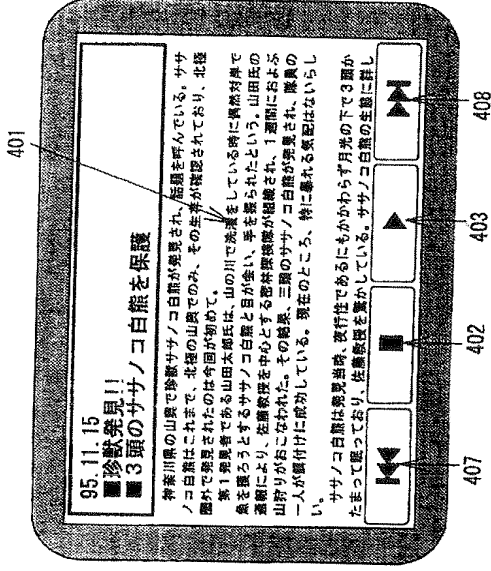


STEP3

第14図



第15図



第16図
記事情報 1001

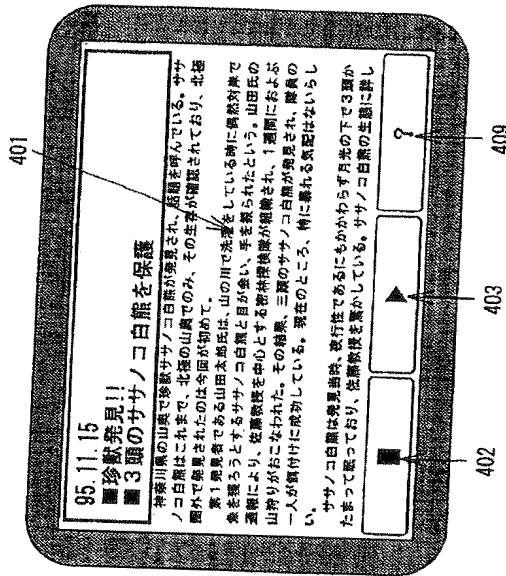
テキスト情報	9001
読み上げ情報	9002
同期情報	9003
識別ID	9004
参照情報	9005

第18図

9004		9001		9002		9003		9005	
識別ID		読み上げ情報		同期情報		参照情報		識別ID	
KJ002		番号 文字 データ		番号 同期 番号 フラグ		番号 同期 番号 フラグ		番号 同期 番号 フラグ	
		1 政		1 1 1		1 1 1		1 1 1	
		2 策		2 2 0		2 2 0		2 2 0	
		3 の		3 3 0		3 3 0		3 3 0	
		4 中		4 4 1		4 4 1		4 4 1	
		5 身		5 5 0		5 5 0		5 5 0	
		6 や		6 6 0		6 6 0		6 6 0	
		7 そ		7 7 1		7 7 1		7 7 1	
		8 の		8 8 0		8 8 0		8 8 0	
		9 実		9 9 1		9 9 1		9 9 1	
		10 行		10 10 0		10 10 0		10 10 0	
		11 に		11 11 0		11 11 0		11 11 0	
		12 責		12 12 1		12 12 1		12 12 1	
		13 任		13 13 0		13 13 0		13 13 0	
		14 を		14 14 0		14 14 0		14 14 0	
		15 も		15 15 1		15 15 1		15 15 1	
		16 つ		16 16 0		16 16 0		16 16 0	
		17 討		17 17 1		17 17 1		17 17 1	
		18 論		18 18 0		18 18 0		18 18 0	
		19 会		19 19 0		19 19 0		19 19 0	
		20 で		20 20 0		20 20 0		20 20 0	
		21 あ		21 21 1		21 21 1		21 21 1	
		22 つ		22 22 0		22 22 0		22 22 0	
		23 て		23 23 0		23 23 0		23 23 0	
		24 ほ		24 24 1		24 24 1		24 24 1	
		25 し		25 25 0		25 25 0		25 25 0	
		26 い		26 26 0		26 26 0		26 26 0	
		27 。		27 27 0		27 27 0		27 27 0	

区切りフラグ： 1...文章の区切りを表わす。
0...文章の区切りではないことを表わす。

第17図



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No. PCT/JP96/00853		
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER		
Int. Cl. G10L3/00, H04M11/00		
According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC		
B. FIELDS SEARCHED		
Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)		
Int. Cl. G10L3/00, H04M11/00, G06F17/20		
Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched		
Jitsuyo Shinan Koho 1926 - 1996		
Kokai Jitsuyo Shinan Koho 1971 - 1996		
Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)		
C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
<u>Y</u>	JP, 2-137899, A (Sanyo Electric Co., Ltd.), May 28, 1990 (28. 05. 90), Line 16, upper left column, page 2 to line 5, lower right column, page 3 (Family: none)	<u>1 - 14</u>
<u>Y</u>	JP, 7-152532, A (Toshiba Corp.), June 16, 1995 (16. 06. 95), Paragraph No. 37, page 5 to paragraph No. 97, page 10 (Family: none)	<u>1 - 10</u>
<u>Y</u>	JP, 62-290966, A (NEC Corp.), December 17, 1987 (17. 12. 87), Line 12, upper right column, page 3 to line 7, lower right column, page 3 (Family: none)	<u>2 - 14</u>
<u>Y</u>	JP, 63-163925, A (Fujitsu Ltd.), July 7, 1988 (07. 07. 88), Line 2, upper right column to line 1, lower left column, page 2 (Family: none)	<u>4 - 7</u>
<u>Y</u>	JP, 7-175909, A (Canon Inc.),	<u>6</u>
<input checked="" type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C. <input type="checkbox"/> See patent family annex.		
* Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier document but published on or after the international filing date "T" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other specific reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other source "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed "T" later document published after the international filing date or priority date and in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken into account "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "G" document member of the same patent family		
Date of the actual completion of the international search	Date of mailing of the international search report	
June 14, 1996 (14. 06. 96)	June 25, 1996 (25. 06. 96)	
Name and mailing address of the ISA/ Japanese Patent Office	Authorized officer	
Faxsimile No.	Telephone No.	

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No. PCT/JP96/00853		
C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
<u>Y</u>	July 14, 1995 (14. 07. 95), Lines 1 to 29, column 1, page 2 (Family: none)	
<u>Y</u>	JP, 56-12700, A (Toshiba Corp.), February 7, 1981 (07. 02. 81), Line 4, lower left column to line 5, lower right column, page 1 (Family: none)	<u>6</u>
<u>Y</u>	JP, 62-38716, B2 (International Business Machines Corp.), August 19, 1987 (19. 08. 87), Line 6, column 6, page 3 to line 21, column 7, page 4 & JP, 58-132800, A & BR, 8300251, A & EP, 85209, B1 & US, 4653100, A	<u>11 - 14</u>

国際調査報告

国際出願番号 PCT/JP96/00853

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))	
INT Cl ⁶ G10L3/00, H04M11/00	
B. 調査を行った分野	
調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))	
INT Cl ⁶ G10L3/00, H04M11/00, G06F17/20	

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報
日本国公開実用新案公報
1926-1996年
1971-1996年

国際調査で利用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリ*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
Y	JP, 2-137899, A (三洋電機株式会社), 28. 5月, 1990 (28, 05, 90) 第2頁左上欄第16行-第3頁右下欄第5行, ファミリーなし	1-14
Y	JP, 7-152532, A (株式会社東芝) 16. 6月, 1995 (16, 06, 95) 第5頁第37段第1-第10頁第97段第, ファミリーなし	1-10
Y	JP, 62-290966, A (日本電気株式会社), 17. 12月, 1987 (17, 12, 87) 第3頁右上欄12行-第6頁右下欄第7行, ファミリーなし	2-14

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

- * 引用文献のカテゴリ
- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
- 「E」先行文献ではあるが、国際出願日以後に公表されたものの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)
- 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願
- 「&」同一パテントファミリー文献
- の日の後に公表された文献
- 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
- 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

国際調査を完了した日

14. 06. 96

国際調査報告の発送日

25.06.96

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JIP)

郵便番号100
東京都千代田区麹町三丁目4番3号

特許庁審査官 (権限のある職員)

根谷 雅人

5H19381

電話番号 03-3581-1101 内線 3533

様式PCT/ISA/210 (第2ページ) (1992年7月)

国際調査報告

国際出願番号 PCT/JP96/00853

C (続き) 引用文献の カテゴリ*	関連すると認められる文献	国際出願番号	請求の範囲の番号
Y	JP, 63-163925, A (富士通株式会社), 7. 7月, 1988 (07, 07, 88) 第2頁右上欄第2行-同頁左下欄第1行, ファミリーなし		4-7
Y	JP, 7-175909, A (キャノン株式会社), 14. 7月, 1995 (14, 07, 95) 第2頁第1欄1-29行, ファミリーなし		6
Y	JP, 56-12700, A (東京芝浦電気株式会社), 7. 2月, 1981 (07, 02, 81) 第1頁左下欄第4行-同頁右下欄第5行, ファミリーなし		7
Y	JP, 62-38716, B2 (インターナショナル・ビジネス・マシーンズ・コーポレーション), 19. 8月, 1987 (19, 08, 87) 第3頁第6欄第6行-第4頁第7欄第21行, &JP, 58-132800, A &BR, 8300251, A &EP, 85209, B1 &US, 4653100, A		11-14

様式PCT/ISA/210 (第2ページの続き) (1992年7月)